

会議報告書(要旨)

- 会議名 令和6年度 第1回日向市総合体育館整備市民検討委員会
- 日時 令和6年8月5日(月) 10:30~12:00
- 会場 日向市健康管理センター2階 多目的ホール
- 主催 資産経営課
- 出席者 市民検討委員会委員(14名、欠席5名)、事務局(8名)

【会次第】

- 1 開会
- 2 日向市総合体育館整備について
 - (1) 検討経過について 【資料1】
 - (2) 基本設計について 【資料1】
- 3 その他
 - (1) 今後のスケジュールについて 【資料1】

【主な意見(要旨)】

2 日向市総合体育館整備について

(1) 検討経過について

【委員長】 改めまして日向市のこういった政策形成の進め方というのは、大変、他市と異なっていて丁寧に進めており、さまざまな意見を反映して進めているなというところを改めて認識したところであります。

【委員】 意見なし。

(2) 基本設計について

【委員】 空調のエアコンと塩ビシートの利用例とか、この体育館はこのやり方でやってますとか、この体育館はこの塩ビシートを使用していますという事例があれば教えていただきたい。あと塩ビシートは、ただ、値段、コストが安いから決めましたなのか、体育館を使うスポーツ、武道系以外のものだけが適していて、武道される方にはちょっと不適切ですっていうのを確認されたのか教えていただきたいです。

【事務局】 まず、床材の方につきましては、今回、武道系の競技団体、それからそれ以外のスポーツ団体の方に確認をさせていただいております。それから、実際、事例で言いますと先ほど話が出ました清武の方の体育館の床材が、この塩ビシートを使っています。当初はフローリングだったんですけど、途中で床材をやり替えられており、現状としては塩ビシートが使われています。

- 【事務局】 アリーナくにとみの床材は、塩ビシートです。今回、市長の方につきましても、現地の方に見に行かれており、その素材的なものは確認をいただいています。私の知る限りとなりますが、国富、新富、高城が使われています。次に空調の方ですが、壁輻射の県内事例としては、自分の中では把握は出てきてはませんが、九州、全国の中で幅広く使われていると、特に鹿児島県の方は、後付けでの設置も可能というところを含め、利用されています。
- 【委員】 P28 になります。災害対策のマンホールトイレについて、設置場所が南西になっていますが、特に災害時というところから、臭いの問題があるので、できれば南側ではなくて、日があたらない場所の方がいいのではと思います。
- 【事務局】 マンホールトイレの設置につきましては、公共下水道の排水の経路といたしまして、今予定していますマンホールトイレの付近から、そのまま、南側の斜面を流れていく排水計画としております。マンホールトイレの使用については、臭いが、絶対解消されるかというのは、なかなか難しいところでもあります。
- 【委員】 災害時は特に衛生管理は重要な課題かなと思っているんですが、やはり、臭いとか、できるだけ良い環境の方がいいと思い質問しました。
- 【事務局】 現時点といたしましては、今のこの場所が一番適した場所ではないかというところまで考えていましたので、ご意見というところでお受けしたいと思います。
- 【委員】 下水道で処理をする方法ですが、収容可能人数以上の方が避難されることを考えると、別の対応が出てくるのかなと思います。
- 【事務局】 マンホールトイレを 10 基予定していますが、足りない場合は、仮設トイレを別途、設置するなどの対応を考えています。
- 【委員】 2 点になりますが、まずコストについて、例として挙げてあるんですが、コストについては市民が財政力の観点から関心があるように見えていますので、これは要望になりますけど、これについては十分、市民が楽しめるという基本理念がありますので、そこを踏まえた上でコストを設定していただきたいと思います。それと、国体を中心とした考え方だと思うんですが、駐車場関係ですけれど、国体をやるときに、周りの駐車場だけで足りるのかどうかというのと補足で下の駐車場の説明がありました、下の駐車場から階段で上に上がるようになってます。この階段は非常に危ないです。私どもが上がるのにも大変です。それで、ここと連携するには、何らかの形で、考えないといけません。是非、下の駐車場から上に上がる階段は再検討をお願いします。
- 【委員長】 使用料も含めてなんですが、インシヤルコストだけじゃなくてランニングコストも含めて、持続可能性みたいところ、それからあと周辺の特に国スポ・障スポのスポーツのような大きなイベントがあった時に駐車場それから、そこからの動線みたいところを今事務局の方はどういうふうなお考えかお聞かせをいただきたいと思います。
- 【事務局】 利用料金につきましては、今の体育センターよりも上がります。一つの理由としては空調設備とかが備えられるというようなところもございますので、中々、今の体育センターでの使用料金がそのまま移行するという考えは、かなり厳しいので、そのあたりを踏まえて検証し、金額を算出してまいります。それから、駐車場の方につきま

しては、下の方の駐車場でも足りないということが生じましたら、他の近い場所で駐車場の確保をするということが前提としてあります。そこからの会場までの誘導については、シャトルバスのなものを利用し、それに乗って会場の方まで移送していくという考えです。先ほどの階段につきましては、確かに議会の方等でもご意見をいただいております、いろいろと検討していかないといけないものではありますが、まだ、現時点としては決まっていないことから、方法の手段の一つとして、下の方に止められたとしても、そこからバス等で会場まで誘導するような、方法等も含め検討はしていきたいと思っております。

【委員】 階段のところは気になるんですが、下の駐車場からバスで移動というのは中々難しいと思われまして。すぐ、下ですから上がろうとしますので、その辺りで慌てて駆け上がろうとするものすごく危険性を感じていますので検討をお願いします。

【委員長】 周辺環境の整備といった場合、その階段、その他に限らずいろいろ出てくるかと思っておりますけど、そこもまた課題との対応で一体的に必要なんじゃないかと、そのところをしっかりと要素の中でご検討いただけたらと思っております。

【事務局】 今回、赤線の太線で囲まれたところを工事の対象エリアとしております。下の方から点線で上がってくるというかたちでこの階段は工事対象区域外となっておりますので、計画当初から、下の駐車場から上がる階段は厳しいと、昔から認識しておりますので、一旦、これが落ち着いた後、あわよくば工事費が余ればというのを含めて、補修等、今後の計画として十分認識して、検討してまいりたいと思っております。

【委員】 先程の床材に付随すると思うんですが、塩ビシートを使用したことによって、車いす等の競技ができないのではないかという意見があったと思うんですが、そのあたりは大丈夫だったんでしょうか。

【事務局】 今回の塩ビシートに変えるにあたり、車いす競技のバスケットボールの競技団体の方にも確認をさせていただいております。また、メーカーの方からも、実際に車いすバスケットをされている選手の方に、実証的な形でその状況を体験していただいております。結果としては、特に問題はないというお話をいただいております。ただ、厚みによって、クッション性がある場合は、床にボールを落としたときの跳ね返りが弱いところがありますが、今回、進めているのは、一番薄いタイプというところで、実際に他の体育施設でも、使用されているところも事例としてありますので、その点については、問題はないと思っております。

【副委員長】 今の車いすの関係なんですが、実は私どもの方で得た情報では、車いすバスケットには不向きだと。だから、車いすでは、この床材ではできないんだということを聞いております。車いすバスケット、車いすラグビー、車いすテニス、それから高齢者の方が車いすで避難してきた場合には、この床材には無理なんだという話を私は聞いています。

また、あるところからですが、確かな情報ではないんですが、日向の一番トップの方が、車いす関係の競技は、県の体育館でやればいいんだよ。延岡にあるじゃないかと、県の体育館に持っていけばいいじゃないかというようなことを言われたというこ

とを、確かではありませんが、お聞きしております。これはですね、日向市が障がいを持たれた方に優しい、高齢者に優しい、そういうまち作りを目指してないのかなという、ニュアンスにとらわれます。ですから、その辺は気にしていただいて、障がいを持たれた方にも優しいスポーツができる。障がいを持たれた方がスポーツをするにも優しい日向市だ。高齢者が避難してきて、体育館に入るときに車いすは入らないよと。えって、いうことになりますよね。ですから、そういうコンセプトはしっかりとっていただいて、車いすでも十分体育館ではできるんだよというようなことを、アピールしていただかないと、何か車いすの競技の方は、延岡に行けばいいじゃないか、県体育館ができそうじゃないかということで、とられると非常に心外かなと思いますので心配はしております。

なお、競技上の塩ビシートはですね、汗をかいて滑ると非常に拭き取りにくいです。ですから、汗をかいた場合は滑りやすいです。当然、フローリングに関しては、汗かいたら拭くんですが、拭き取りやすいです。ですから、そういうのを含めて、県体育館はフローリングということで、今、進んでるところであります。ですから、コストのことも考えて4,000万円、市長が替わられて、市役所の方も大変だと思うんですけど、突然、床材をということで、でてきたので、恐らくこういう形で塩ビシートになってきたんだろうと思うんですけど、以前の話ではそういう話は一切なかったんですよ。この市民検討委員会では、突然出てきた話なので私もびっくりしてるんですけど、できたらフローリングをですね、県体育館とか早水の体育館と同じような形でフローリングをしていただければ、先程、アリーナくにとみの話もあったんですがアリーナくにとみは、一番、町村の中で一番新しい体育館なんですね、その時、経費の問題、コスト問題で空調設備をつけなかったんですよ。あそこで使う競技としては、今、エアコンがないもんですから、中々、使われないんですよ。国スポでは、そこはフェンシング競技なんですけど、国スポは10月ですが、そこには仮設のクーラーを入れてエアコンを入れるとして、それが莫大な金額です。そういうことを考えると、後でつけないでといいますか、フローリングしてなくて、後でまたやり直すという莫大なお金がかかりますので、そういう意味では大変だと思うんですけど、競技団体としましてはフローリングがいいんじゃないかなと考えております。コストの問題も大変重要な問題かとは思いますが、そこもまた、考えただければ、もう我々がここに出てくるのは今日しかない。あとはおそらく体育館ができたときに、落成前に我々が見て、こういうとこですねとはっきり言って実物を目にするときしか、この市民検討委員会を開かれないと思うんですよ。ですから、その場で体育館を見て、ここがこうだこうだということも絶対できませんので、そこから修理はできませんので、修正はですね。この場はまだ設計段階ですので、この場でやっぱりしっかりそういうところは意思統一をして、市民に優しい日向市総合体育館の基本コンセプトがありますよね。この3つが全て満足できるような総合体育館になるといいなと思います。新しい体育館を期待してます。

【委員長】 今、誰も取り残さない社会作りは、SDGsですけど、大きなコンセプトになってます

し、それから市の総合計画でもそういった考え方を取り入れながら街全体をいいものにしてくってという方向性があるかと思います。この点は、中々ご判断が難しいところなんです、事務局の方で今のご指摘ですよね。今後どうされるかも含めてちょっとご説明をいただけたらと思います。

【事務局】 ご指摘ありがとうございます。この床材の件は、市民検討委員会でその都度という形ではしていませんけども、設計の当初の段階からずっと中々、両面ありましてですね、これメリット、デメリット、フローリングがいいのと、塩ビシートがいいというのがあって、中々、検討段階でも決着が付きづらい内容でして、なので、もう1回ブラッシュアップ、再検討となるときに、逆に言うところこしか思いつかなかったというのが、事務局の考えです。フローリングが向いてる競技、塩ビシートが向いてる競技それぞれあるようです。本格的にものすごく勉強したのは、市長が替わられてからになります、バレーは塩ビシート、バスケットはフローリングが向いてるというような、ちょっと大きな割とスポーツ人口が多い競技ではそういうことがある。ちょっとお手元に今日、お配りできませんでしたが、これがフローリング・・・

【副委員長】 競技でいくんじゃない。私が言いたいのは車いすでもできるかどうかです。

【事務局】 車いすでも、できるのは確認しております。車いすも競技があり、車いすバスケットが向いてるか向いてないかということで、最適が◎、適が○となってるんですけど、どちらでもできます。塩ビシートでできます。それが一番向いてるかどうかって言われたときに、若干、◎なのか○なのかの違いはありますが・・・

【副委員長】 できるできない。向き不向きではなくて、使ってもいいのかどうかっていうことで、車いすの方が駄目だよって、言われたら駄目なので、使っていていいですよって言われることが大前提だと。

【事務局】 それは間違いなく使えます。ただし、若干条件をつけさせていただけると、最終的に運用しだして、指定管理者の方が、どういうふうにするか、いわゆるメンテナンスの量ですね。車いすラグビーがすごいんですかね。アリーナの格闘技と言われてるような、ちょっと傷がついたと言ったときにそのメンテナンスを考えて、そのメンテナンスが大変だからやめてくれとかいうのが、行き詰まって最終運用段階で、もしかしたらあるかもしれませんが、材質的にできるかどうかということであれば間違いなくできます。それがちょっと議会のときにも説明が足りなかったなっていうふうに聞こえたんですけど、使えます。なので、現時点でも間違いなく使えるということでもあります。

ただ、向き不向きがありますので、市長の言い方もですね、塩ビシートの方が向いてないところは、延岡のサブアリーナで、フローリングのところであればいいじゃないかというふうに受け止めがあったかもしれませんが、逆に言うと塩ビシートの方が向いている競技があれば、延岡の県体育館でなくて日向の方に来てくださというような形での一番、最適な競技によって、若干そこがあるかもしれないということで、ずっと最後の最後まで検討に載ってしまっていて、最初の段階では、フローリングの方が東京のpara大会とかで実績があったことから、そちらの方が全てのparaスポーツにも

向いてるんじゃないかということで考えていたんですけども、業者さんからも綿密に資料を取りよせたり、他の施設ですね、他の塩ビシートにしたところにも聞き取りをしたところ、十分できますというようなことで確証を得たもんですから、ランニングコストも含めて、塩ビシートで大丈夫だという確信を持ちましたので、変更したというかたちになりました。

【副委員長】 市長が替わった途端に、新聞等でも日向市内の小学校も全部塩ビシートにすると、3,800万円、それがどんと出るし、市長が変わったために、そういう市長選の公約としてなのかどうかはわかりませんが、それでこういう形でポンと突然出てきて、先ほど申し上げましたとおり、車いす関係は延岡でという情報も入ってきて、何か今までの市民検討委員会で話してきたことじゃない部分がポツンと出てきたので、あれっ、思ってるところです。大変、苦しいのはわかるんですけど、問題は先ほど言ったように、車イスの方が、指定管理の方が使うなって言ったときには、それでいいのかっていうところ。ある災害があったところの体育館に避難しようとしたら、指定管理者から、ここは、9時からしか空けられないため断った。鍵を開けなかったというのは、ニュースでありましたよね。指定管理がする。市の方は開けてくれといっているのに指定管理は駄目だ。そういう統括の責任ですね、そこはどうなるのかという問題もあるし、問題は車いすの障害を持たれた方たちが、遠慮無く使えるような体育館にしてほしいというのが、一番の趣旨なんですけど。

【委員】 床の問題なんですけど、現在、スポーツ推進委員というのは、市民誰でもスポーツができるというプログラムを造っております。健全者も障がい者も一緒にスポーツを楽しめます。一緒にできるスポーツ、ニュースポーツそういったものができております。そういった車いすにしては駄目とかですね、健全者ならいいよとかになりますと、やはりそういったスポーツもニュースポーツもできなくなるということになります。是非ですね、ここに市民の誰もが日常的にスポーツ活動を健康作りに親しむ。利用できる体育館ということになっておりますので、やはり、健全者も障がい者も一緒にできる体育館にしてもらいたいと思っております。

【委員長】 どうでしょうかやっぱり市民検討委員会の基本的なコンセプトは、全ての市民の方がやっぱりスポーツに親しみ、あるいは様々なイベントを、あるいはあの災害時も含めて、車いすの方が利用できるってところが重要なので、確かに無駄な経費は抑えていくコストカットも考え方も必要ですけども、むしろやっぱりこの数年のいろんな社会経済の変化を見てますと、朝の連続テレビ小説で虎に翼をやっていますが、50年前だと本当にもう女性が社会的にはなかなか参加できない仕組みがあったと同じように、現在もやっぱり障がい者の方は、中々参画できないような、ハード、それからソフト、人のこの壁があって、おそらく多分これから5年10年経ってくると、新しい考え方ってのは定着して普通に使えない施設ってのは非常に問題があるっていうことが出てくる可能性がありますので、おそらく副委員長がおっしゃってる市長の発言はこういった背景のところもきちっと情報と市長のご理解された上での、あのコストカットのご意見なのかどうか、ちょっとそこのところも含めてですね、もう1回、この

委員会の一つのメッセージということで市長、それから議会の方に届けていただいて、本当にそこが確実なのかどうか、障がい者の方が排除されることがないかどうか。現状ではまちがいなく使えるっていうお話でありましたけれど、メンテナンスその他も含めて、いざとなったらちょっとご遠慮いただくって形だとちょっとそれは市民検討会でこれまで議論してきました趣旨、考え方と異なるということなので、そこまではしっかり市の行政の中でも検討していただけるようにこのメッセージをお届けいただくということで、いかがでございますか。

【事務局】 先ほどから議論いただいておりますが、基本的な私の認識としては市民の方、車イスで利用される方は、利用していただけるという認識を持っております。ちょっと議題になったのは、先程、言いました車いすラグビー等の激しい競技の大会が来た場合どうするかという話ですけども、基本的には市民の方で車いすラグビーをされる方がいらっしゃいません。そういった中でそういう大会という話があった場合は県の体育館、延岡市でもいいんじゃないかと。あくまで日向市で駄目ということではなかったんですけども、そういう発言はあったんじゃないかなというふうに思っています。体育館を建設する際には、もう延岡市に体育館ができる日向市に体育館はいらんんじゃないですか。延岡市の体育館を使えばいいんじゃないかといういろんな意見もあつたんですけども、基本、市民の方がやるスポーツであれば市内でやっぱりそういう場を提供することは必要ですということで、ただ今は市民でやってる、やってる方がいらっしゃらないし、特に日向市内でそういう大会等も今まで競技されたことがないということを前提に踏まえれば、県の体育館が延岡にできるので、そちらの方でやっていただく方も一つ考えていたということで認識し、あくまで市民の方の、通常のバスケット車いすの利用については支障なく使っていただけるということでは認識しておりますが、皆さんからいただいたご意見もまた改めて、議会または市長にもお伝えをして、また、ご意見をいただきたいと思っております。

3 その他

(1) 今後のスケジュール

【委員】 意見なし。